

2012年度第3四半期決算説明会



2013年1月31日

---

# 2012年度第3四半期決算概要(実績)

---



## 営業利益（セグメント間相殺前）増益のポイント

(+/-▲ は利益に対する影響を示す, 億円)

### ■ 都市ガスセグメント<+703>

- スライドタイムラグ改善に伴う営業利益増(+591億円)
- ガス販売量増(+149億円・+442百万m<sup>3</sup>+4.3%:うち鹿島+282百万m<sup>3</sup>, 気温影響+44百万m<sup>3</sup>(+23億円), 震災影響からの戻り他)
- 小口料金改定(▲65)

### ■ その他エネルギーセグメント<+150>

- 電力事業営業利益増(+104 数量増: +27.2%・+63, 単価増: +42)
- LNG販売営業利益増(+27)

### ■ 海外投資<+23>

- TGバヒオ運転会社宛融資金利息収入増(+24)

(単位: 億円)

	2012年度第3四半期	2011年度第3四半期	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	10,825	10,383	+442	+4.3
売上高	13,354	11,699	+1,655	+14.1
営業費用	12,364	11,629	+735	+6.3
営業利益	990	69	+921	-
経常利益...①	1,017	52	+965	-
当期純利益	640	▲10	+650	-
気温影響...②	29	6	+23	-
スライドタイムラグ...③	132	▲459	+591	-
年金数理差異償却額...④	▲30	▲20	▲10	-
補正経常利益...①-(②+③+④)	886	525	+361	+68.8
補正当期純利益	579	292	+287	+98.3

経済フレーム	原油価格(\$/bbl)	為替レート(¥/\$)	平均気温(°C)	年金資産	運用利回り(コスト控除後)
2012年度第3四半期	113.98	79.95	19.6°C	2012年度第3四半期	4.14%
2011年度第3四半期	113.12	78.98	19.7°C	2011年度第3四半期	3.99%

期待収益率:2%

## 2011年度3Q → 2012年度3Q

**+442百万m<sup>3</sup> (+4.3%)の増加**

[うち大口需要 +289百万m<sup>3</sup> (+4.9%)の増加]

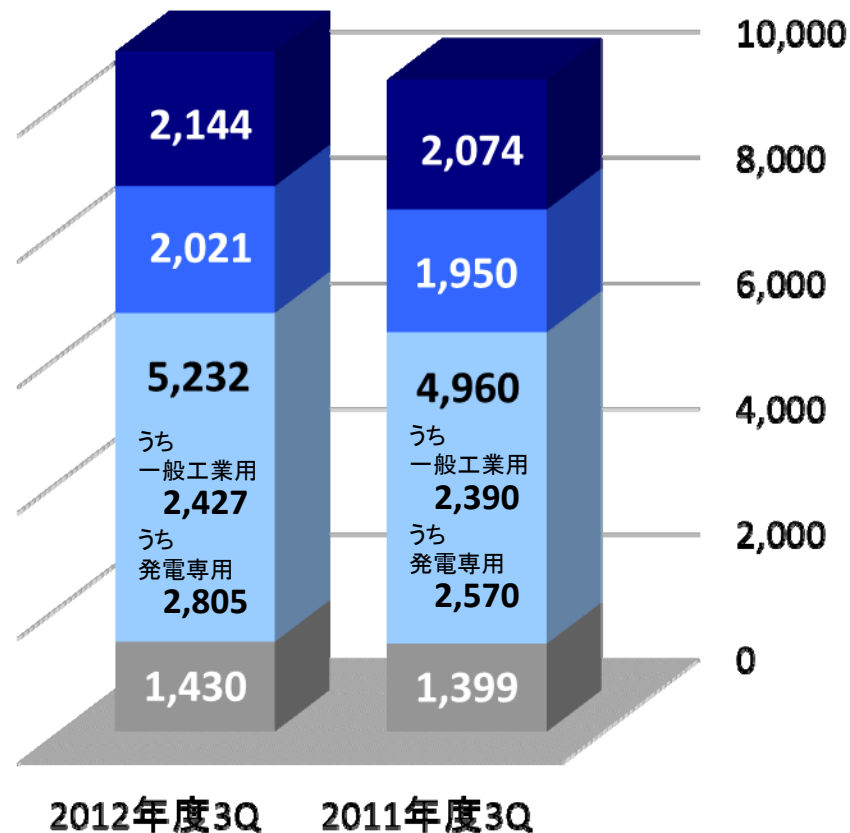
[うち気温影響 +44百万m<sup>3</sup> (+0.4%)の増加]

<b>■ 家庭用</b>	<b>+70百万m<sup>3</sup> (+3.4%)</b>
・気温要因	+26百万m <sup>3</sup>
・お客さま件数の増	+21百万m <sup>3</sup>
・日数影響	+4百万m <sup>3</sup>
・その他 (標準化後 1件当り使用量増(個別) +0.9%)	+19百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b>	<b>+71百万m<sup>3</sup> (+3.6%)</b>
・気温要因	+11百万m <sup>3</sup>
・お客さま件数の増	+15百万m <sup>3</sup>
・日数影響	+5百万m <sup>3</sup>
・その他 (震災影響からの戻り等)	+39百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b>	<b>+272百万m<sup>3</sup> (+5.5%)</b>
千葉鹿島ライン開通に伴う増量効果	+282百万m <sup>3</sup>
・一般工業用:	+36百万m <sup>3</sup>
千葉鹿島ライン開通に伴う新規需要増	
・発電専用:	+236百万m <sup>3</sup>
ニジオ▲157百万m <sup>3</sup> 、ニジオ以外+393百万m <sup>3</sup>	
(参考) 前年度実績のうちトーリング移行分	▲253百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b>	<b>+31百万m<sup>3</sup> (+2.2%)</b>
・一般卸需要(うち気温+7)	+36百万m <sup>3</sup>
・大口卸需要	▲5百万m <sup>3</sup>

ガス販売量: [10,825]

[10,383]

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>  
(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)



	2012年度3Q	2011年度3Q
LNG液販売量(千t) *ニジオ除く	382	307
平均気温	19.6°C	19.7°C

### お客さま件数

(単位:万件)

2012年度3Q末	2011年度3Q末	増減
1,093.3	1,080.9	+12.4 (+1.2%)

## 2012年度3Q実績

トーリングによるガス使用量込(単位:百万m3)

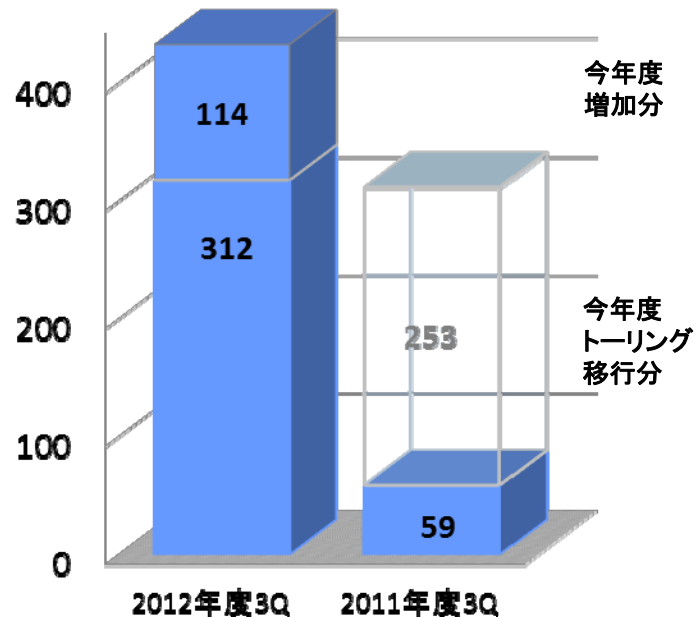
	2012年度 3Q	2011年度 3Q	増減	
ガス販売量 (財務会計数値)	10,825	10,383	+442	+4.3%
トーリングによる ガス使用量	426	59	+367	+625.9%
合計	11,252	10,442	+810	+7.8%

トーリングによる  
ガス使用量

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>

**[426]**      **[59]**

(+367,+625.9%)



工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	206	2,599	2,805
一般工業用	77	2,350	2,427
合計	282	4,950	5,232

※トーリング:電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡し受託発電料を得る契約

# 2012年度3Q実績 セグメント別売上高・営業損益（対2011年度3Q実績）

5



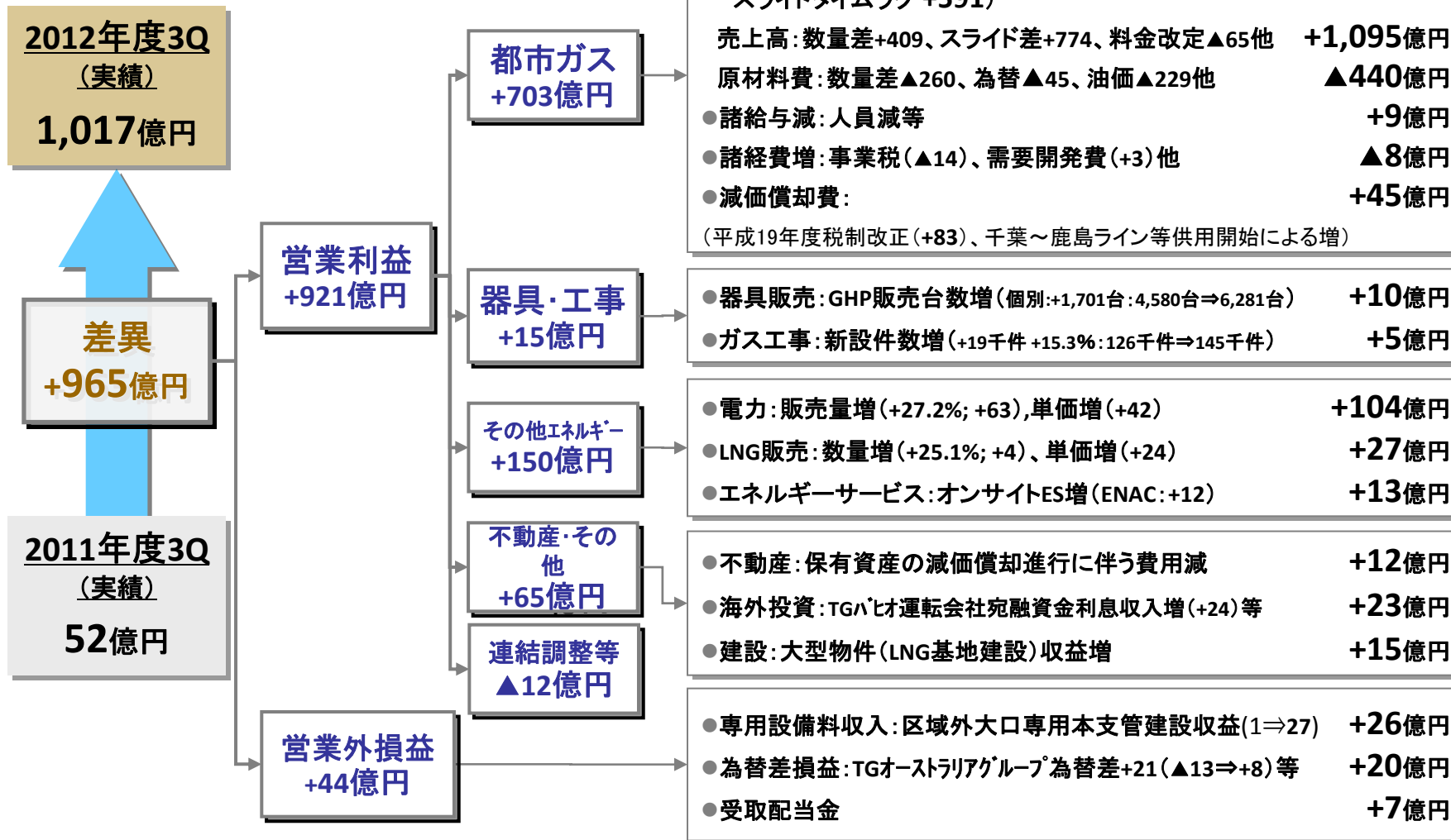
(単位:億円)

	売上高				営業損益			
	2012年度3Q			2011年度3Q	2012年度3Q			2011年度3Q
	実績	対前期比	%	実績	実績	対前期比	%	実績
都市ガス	9,688	1,095	12.7	8,593	933	703	304.0	230
器具及びガス工事	1,472	180	13.9	1,292	33	15	79.3	18
その他エネルギー	2,406	306	14.6	2,100	207	150	262.7	57
(電力)	938	242	34.8	696	140	104	288.3	36
不動産	226	4	1.8	222	48	12	32.1	36
その他	1,354	168	14.2	1,186	94	53	127.3	41
(海外投資)	77	54	229.6	23	24	23	—	1
調整額	▲1,794	▲99	—	▲1,695	▲327	▲12	—	▲315
連結	13,354	1,655	14.1	11,699	990	921	—	69

- 注記:
- セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」（LNG販売含む）、「電力」、「LPG」、「産業ガス等」を含みます。
  - 「その他」には、「建設」、「情報処理サービス」、「船舶」、「海外投資」、「クレジット・リース」等を含みます。
  - 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

# 2012年度3Q実績 経常利益分析 <対2011年度3Q実績>

(単位:億円)



※符号は利益の貢献に対して表示

---

# 2012年度第3四半期決算概要(見通し)

---



～前回見通し(2012.10.30発表)との差異を中心に～



## 通期見通しのポイント 増収減益

### ■ 為替見通しの変更

- 直近の市況を反映し、2013年1月以降の為替の見通しを80円/\$から90円/\$に変更 原油は110\$/bblで据え置き
- スライドタイムラグ悪化影響は▲194億円

### ■ ガス販売量の上方修正

- 第3四半期実績を踏まえ「発電専用」(+115百万m<sup>3</sup>)を含め全用途の見通しを上方修正
- 合計で+265百万m<sup>3</sup>のガス販売量を上積み(+61億円(うち気温影響+45億円))
- 併せて、都市ガスセグメント売上高を上方修正(+348億円, +2.5%)

### ■ 「その他」セグメントの営業利益上方修正

- 建設:大型物件(LNG基地建設)利益増(TGエンジニアリング: +13)
- 船舶:貸船収益増等(東京LNGタンカー: +7)

(単位:100万m<sup>3</sup>・45MJ、億円)

	今回見通し	前回見通し(10/30)	増減	%	2011年度	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,400	15,135	+265	+1.8	15,190	+210	+1.4
売上高	19,340	18,900	+440	+2.3	17,542	+1,798	+10.2
営業費用	17,920	17,380	+540	+3.1	16,771	+1,149	+6.9
営業利益	1,420	1,520	▲100	▲6.6	770	+650	+84.2
経常利益...①	1,440	1,540	▲100	▲6.5	756	+684	+90.4
当期純利益	930	990	▲60	▲6.1	460	+470	+101.9
気温影響...②	56	11	+45	-	78	▲22	-
スライドタイムラグ...③	▲103	91	▲194	-	▲484	+381	-
年金数理差異償却額...④	▲44	▲44	-	-	▲31	▲13	-
補正経常利益...①-(②+③+④)	1,531	1,482	+49	+3.3	1,193	+338	+28.3
補正当期純利益	944	883	+61	+6.9	746	+198	+26.5

4Q原油価格・為替レート変動粗利影響感度 (単位:億円)	4Q	経済 フレーム (通年)	原油 価格 (\$/bbl)	為替 レート (¥/\$)	平均 気温 (°C)	年金	運用利回り ※コスト 控除後	割引率	期末 資産 (億円)
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	▲3	FY12	112.99	82.46	16.7	FY11	5.13%	1.7%	2,540
円・ドルレートが¥1/\$円安	▲17	FY11	114.17	79.08	16.4	FY10	2.70%	2.0%	2,350

期待収益率:2%

## 前回見通し → 今回見通し

+265百万m<sup>3</sup> (+1.8%)の増加

### ■ 家庭用 +50百万m<sup>3</sup> (+1.4%)

- 第3四半期及び1月の気温影響の見直し +53百万m<sup>3</sup>
- その他（標準化後1件あたり使用量減等）▲3百万m<sup>3</sup>

### ■ 業務用 +42百万m<sup>3</sup> (+1.5%)

- 第3四半期及び1月の気温影響の見直し +26百万m<sup>3</sup>
- 省エネ緩和影響の上振れ他 +14百万m<sup>3</sup>

### ■ 工業用 +152百万m<sup>3</sup> (+2.2%)

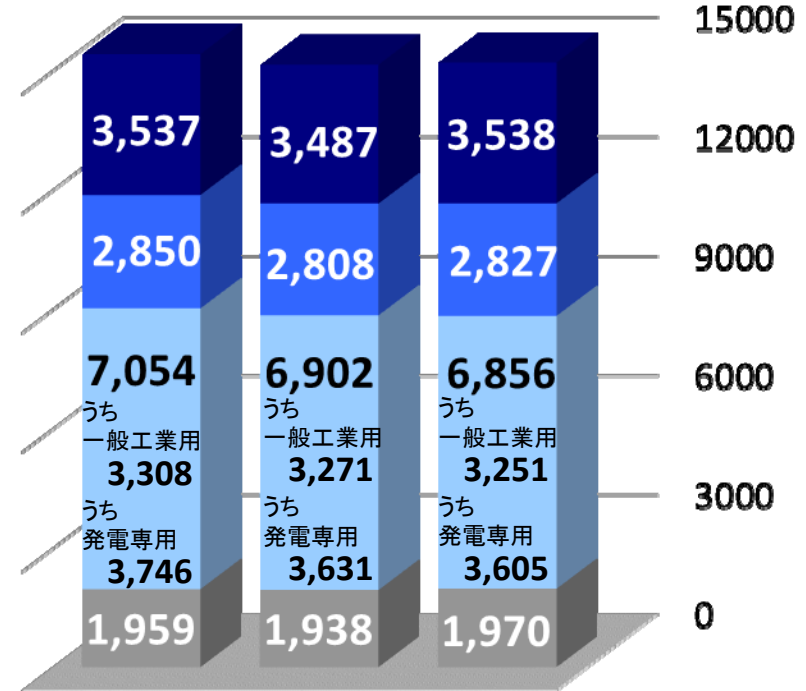
- 一般工業用: +37百万m<sup>3</sup>  
第3四半期上振れ・第4四半期一部個社事情を積上げ
- 発電専用: +115百万m<sup>3</sup>  
第3四半期上振れ分等を反映

### ■ 卸 +21百万m<sup>3</sup> (+1.1%)

- 第3四半期の気温影響等を反映 +8百万m<sup>3</sup>
- 第4四半期の卸供給事業者需要増等 +13百万m<sup>3</sup>

ガス販売量: [15,400] [15,135] [15,190]  
(対前回見通し +265, +1.8%)

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)



今回見通し 前回見通し 前年度実績

	今回見通し	前回見通し
LNG液販売量(千t)*ニジオ除く	599	612
平均気温	16.7°C	16.8°C

(単位:万件)

### お客さま件数(2012年度末)

今回見通し	前回見通し	増減
1,096.8	1,096.8	0.0 (+0.0%)

## 2012年度見通し

トーリングによるガス使用量込(単位:百万m3)

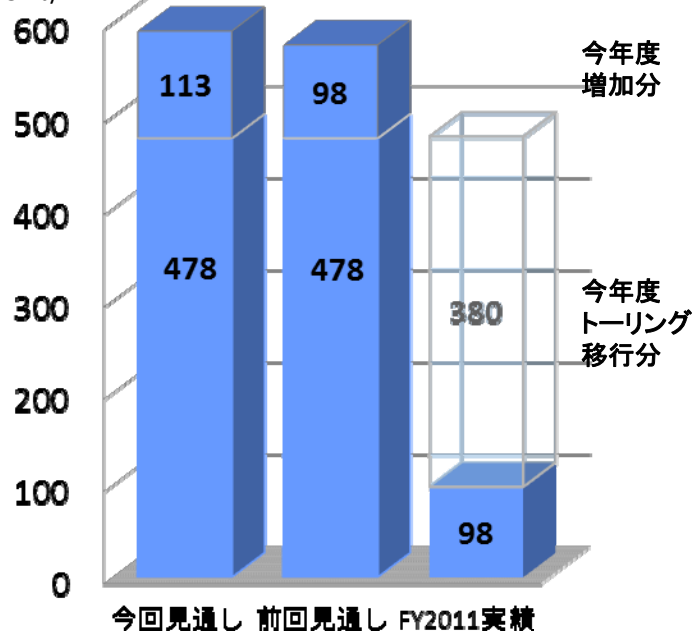
	今回 見通し	前回 見通し	増減	FY2011 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,400	15,135	+265 (+1.8%)	15,190	+210 (+1.4%)
トーリングによる ガス使用量	591	576	+15 (+2.6%)	98	+493 (+504.0%)
合計	15,991	15,711	+280 (+1.8%)	15,288	+703 (+4.6%)

トーリングによる  
ガス使用量

[591] [576] [98]

(対前回見通し+15,+2.6%)

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>



工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	251	3,495	3,746
一般工業用	153	3,155	3,308
合計	404	6,650	7,054

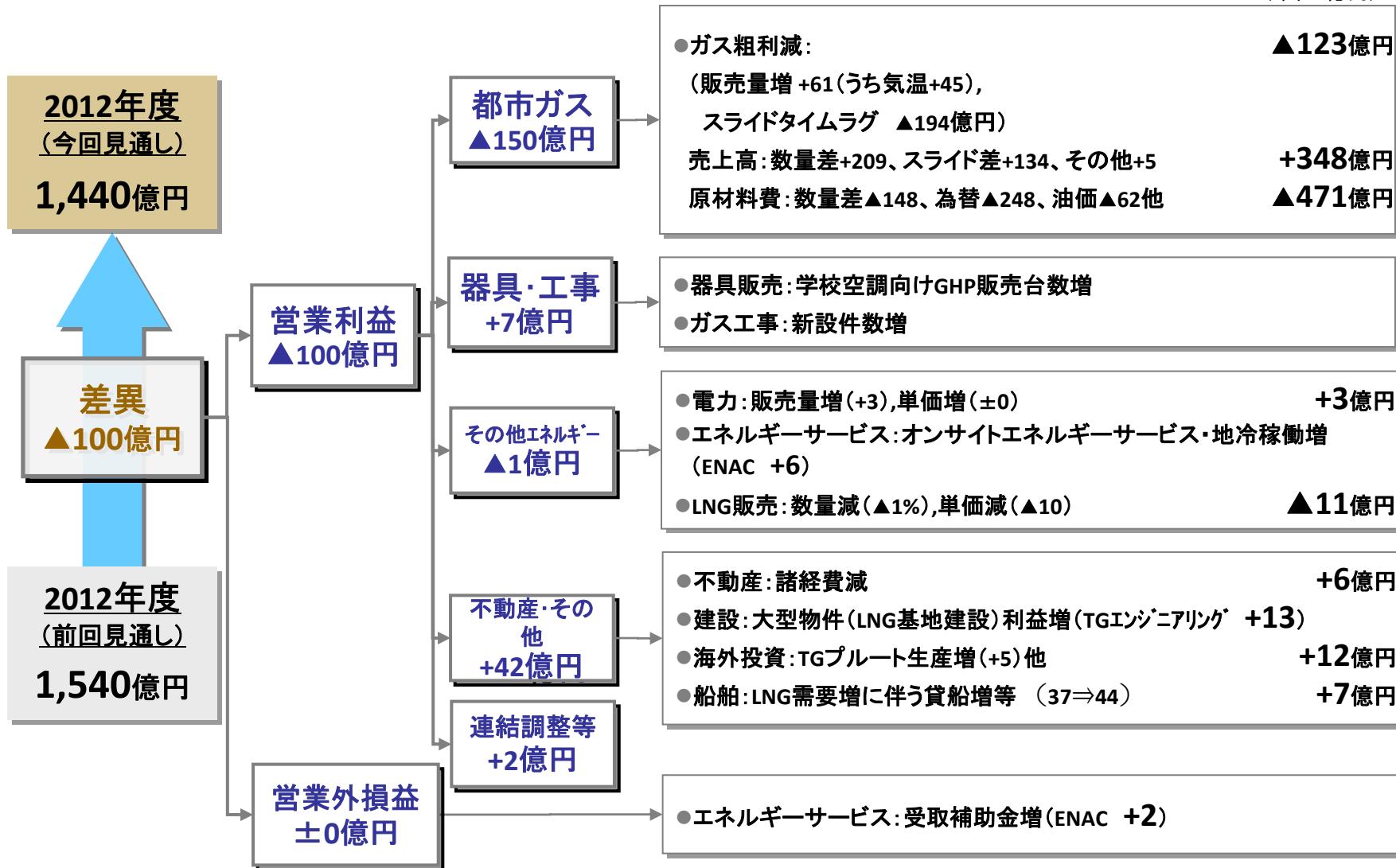
※トーリング:電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡し受託発電料を得る契約

(単位:億円)

	売上高					営業損益				
	今回見通し 1.31			前回 見通し 10.30	前年度 実績 FY2011	今回見通し 1.31			前回 見通し 10.30	前年度 実績 FY2011
	金額	対前回 見通し	%			金額	対前回 見通し	%		
都市ガス	14,009	348	2.5	13,661	13,062	1,377	▲150	▲9.8	1,527	974
器具及びガス工事	2,028	33	1.7	1,995	1,876	34	7	25.9	27	31
その他エネルギー	3,336	54	1.6	3,282	3,025	264	▲1	▲0.4	265	109
（電力）	1,258	30	2.4	1,228	1,018	199	3	1.5	196	79
不動産	306	0	-	306	296	56	6	12.0	50	33
その他	1,993	66	3.4	1,927	1,818	128	36	39.1	92	70
（海外投資）	130	30	30.0	100	32	31	12	63.2	19	▲13
調整額	▲2,332	▲61	-	▲2,271	▲2,537	▲439	2	-	▲441	▲447
連結	19,340	440	2.3	18,900	17,542	1,420	▲100	▲6.6	1,520	770

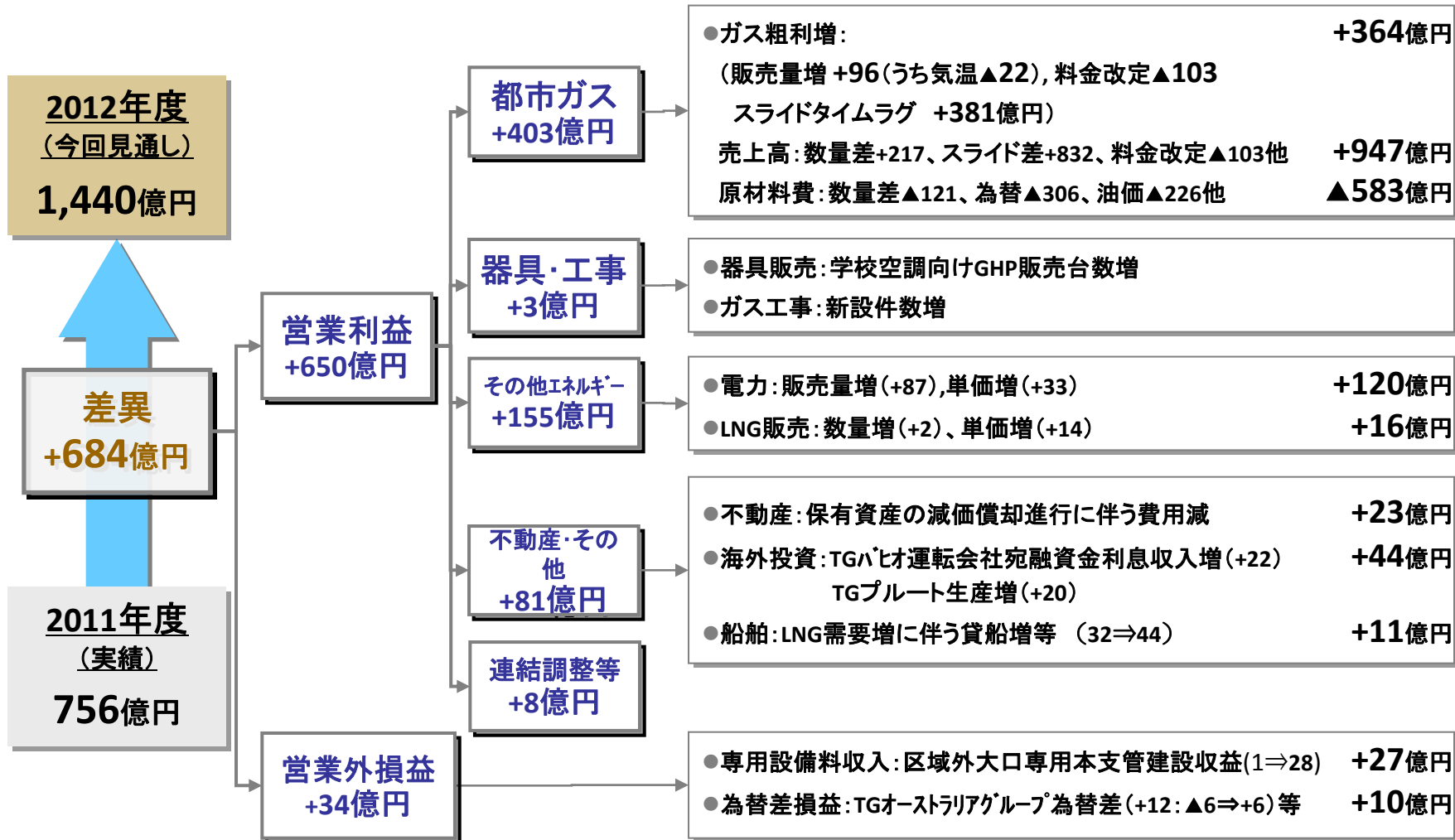
- 注記:
- セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「電力」、「LPG」、「産業ガス」等を含みます。
  - 「その他」には、「建設」、「情報処理サービス」、「船舶」、「海外投資」、「クレジット・リース」等を含みます。
  - 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

(単位: 億円)



※符号は利益の貢献に対して表示

(単位: 億円)



※符号は利益の貢献に対して表示

## 設備投資

設備投資	主な件名	【参考】当初計画
東京ガス： 1,340億円 (+201億円,+17.6%)	製造設備：259億円(+72億円) 日立LNG基地建設(125億円)等	東京ガス： 1,390億円 (+251億円,+22.0%)
	供給設備：889億円(+145億円) 幹線等整備(192億円)、需要開発関連(420億円)等	
	業務設備等：191億円(▲16億円) システム関連投資(91億円)、田町開発関連等	
連結子会社計： 540億円 (+215億円,+66.3%)	海外事業(豪州子会社計296億円) 地冷更新・コジェネ整備等121億円(ENAC)	連結子会社計： 520億円 (+195億円,+60.0%)
合 計 1,880億円(+416億円,+28.4% 内部消去後)		合計：1,910億円 (+446億円,+30.5% 内部消去後)

※ ( ) 内増減は対2011年度実績の数値

## 投融资

39億円(海外事業等158億円、融資回収▲119億円) (対前年比 ▲26億円)

※当初計画 279億円(海外事業等331億円、融資回収▲52億円) (対前年比 +214億円)

## 株主還元

282億円(総分配性向6割を維持) (対前年比 ▲294億円)

(11年度期末及び12年度中間配当、12年度自社株取得額合計)

※参考：2013年度自社株取得額

今回通期見通し連結当期純利益930億円に基づく株主還元想定額は558億円(総分配性向6割)

今年度通期配当9円/株とした場合の2013年度自社株取得額は327億円

## 所要資金と資金調達

【通期見通し】

(単位:億円)

所要資金			対当初計画 増減	資金調達			対当初計画 増減
設備投資	1,880	▲30	自己 資金	減価償却等	1,390	▲10	
その他投融資※	39	▲240		経常利益	1,440	+480	
決算資金	519	+32		その他	▲670	▲424	
自社株取得	50	—		計	2,160	46	
償還・返済 (個別分)	470 (330)	— (—)		外部資金 (個別分)	798 (750)	▲284 (▲350)	
計	2,958	▲238		計	2,958	▲238	

## 有利子負債残高

2011年度末	: 6,258億円
2012年度末 年度当初見通し	: 6,870億円
2012年度末 今回見通し	: 6,650億円 (外貨建借入の時価評価等を含む)

※その他投融資は、投入金と融資金返済による相殺後です。  
年度内に発行・償還される季節運転資金としてのCPは、上記表には含まれておりません。



(単位: 億円)

	2012年度 通期見通し	2011年度 通期実績	2012年度 12月実績	2011年度 12月実績
総資産 (a)	19,640	18,638	18,772	18,180
自己資本 (b)	9,020	8,391	8,735	7,894
自己資本比率 (b)/(a)	45.9%	45.0%	46.5%	43.4%
有利子負債 (c)	6,650	6,258	6,387	6,871
D/E レシオ (c)/(b)	0.74	0.75	0.73	0.87
当期純利益 (d)	930	460	640	▲10
減価償却費 (e)	1,390	1,485	1,020	1,095
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,320	1,945	1,661	1,084
設備投資 (Capex)	1,880	1,464	1,179	897
ROA: (d) / (a)	4.9%	2.5%	-	-
ROE: (d) / (b)	10.7%	5.4%	-	-
TEP (NOPAT-資本コスト)	543	91	-	-
WACC	3.1%	3.1%	-	-
総分配性向	60%(見込)	61.4%	-	-

注: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分  
 ROA = 純利益/総資産 (期首・期末平均)  
 ROE = 純利益/自己資本 (期首・期末平均)  
 BS関連数値は各期末時点の数値  
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却費 (長期前払費用償却費含む)  
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益  
 \* 発行済み株式総数: 2,577,919,295 (2012年9月30日現在)

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について  
 TEP=NOPAT-資本コスト (投下資本×WACC)  
 WACC算定諸元  
 ・有利子負債コスト 金利1.73%  
 ・株主資本コスト率 10年国債利回過去10年平均 1.367%  
 ・リスクプレミアム 4.0% β 0.75  
 ・自己資本=平均時価総額

---

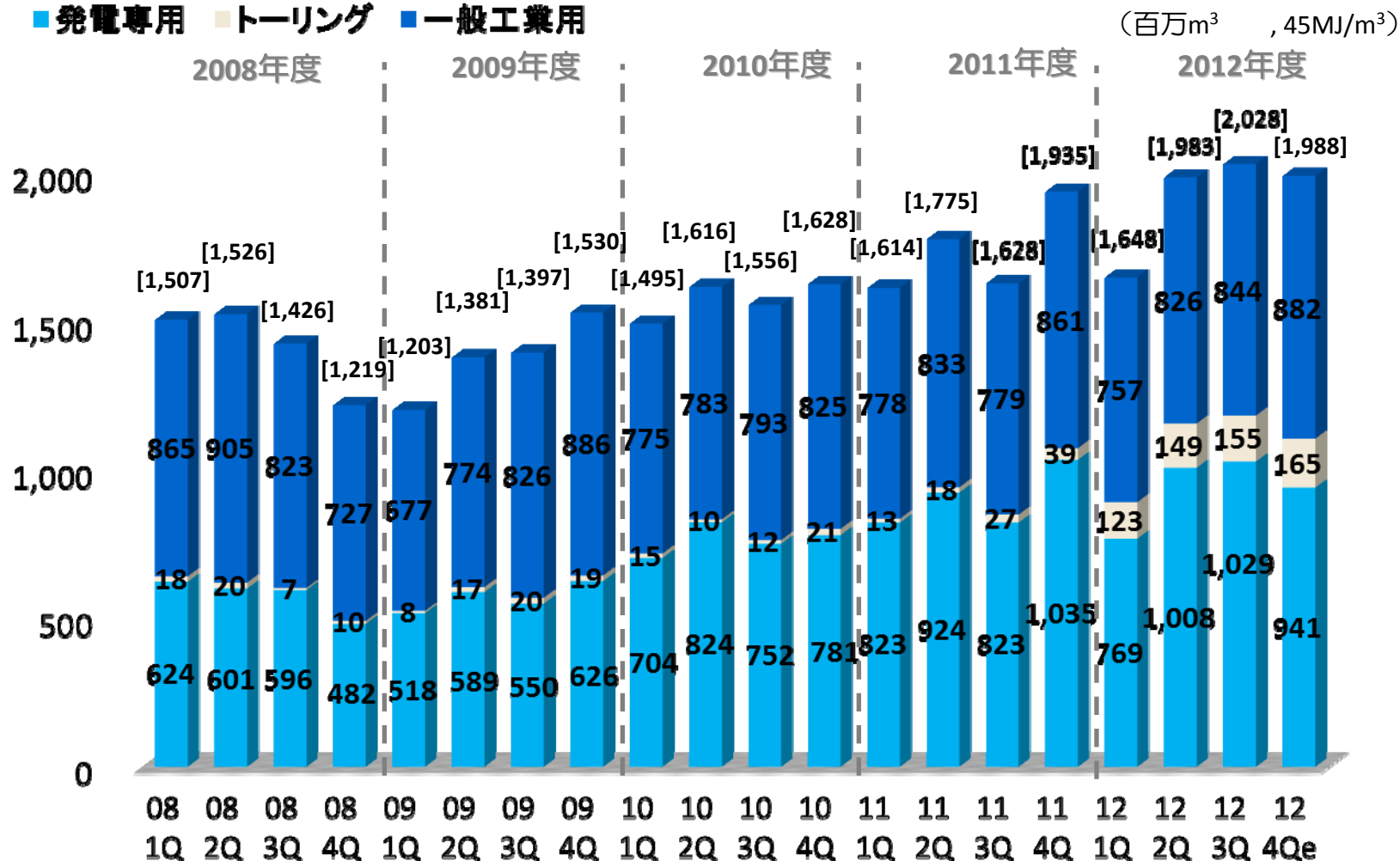
## 参考資料

---

## 連結

■ 2012年度については、千葉～鹿島ライン（2012年3月～）、鹿島臨海ライン（2012年6月～）の寄与もあり、順調に回復。第3四半期には20億 $m^3$ 超。

■ 発電専用 ■ トーリング ■ 一般工業用



※リーマンショック

※東日本大震災



### ＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531